

第 1 回 西米良村農業委員会総会議事録

I 開催日時及び場所

日 時： 平成 30 年 4 月 25 日（水） 15：30～16：30

場 所： 村所驛 2 階会議室

II 出席委員（農業委員 7 名）

1 番：中武武司会長、2 番：黒木保正、3 番：黒木廣喜、4 番：黒木和子、
5 番：田爪朝幸、6 番：上村好彦、7 番：佐伯秀巳

III 提出議題

議案第 1 号 平成 29 年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価について

議案第 2 号 平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動計画について

議案第 3 号 西米良村農業振興地域整備計画変更申請に係る意見の聴取について

IV 総会経過

1 開 会

農業委員会事務局長 上米良重光の進行で開会した。

2 会長あいさつ

開会にあたって、中武武司会長があいさつを行った。

3 議 事

西米良村農業委員会会議規則第 3 条第 1 項の規定により、中武武司会長が議長
となって議事を進行した。

審議に先立ち、中武武司会長より、上村好彦委員と佐伯秀巳委員が議事録署
名者に指名された。

【中武武司会長】

議案第 1 号「平成 29 年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」につ
いて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

平成 29 年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価について、説明いたします。

※下記のとおり、説明を行った。

(別紙様式2)

平成29年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都 道 府 県 名 : 宮 崎 県
農 業 委 員 会 名 : 西米良村農業委員会

I 農業委員会の状況(平成30年3月31日現在)

1 農業の概要

	田	畑	単位:ha			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	63	53				116
経営耕地面積	25	25	7	18	0	50
遊休農地面積	8	2	2	0	0	10
農地台帳面積	65	62	51.2	10.8	0	127

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
 ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
 ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	139	農業就業者数	101	認定農業者	11
自給的農家数	50	女性	43	基本構想水準到達者	0
販売農家数	89	40代以下	7	認定新規就農者	2
主業農家数	16	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	0
準主業農家数	19			集落営農経営	0
副業的農家数	54			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	農会推薦	計	
農業委員数	—	0	0	0	0	0	0	0
認定農業者	—	0	0	0	0	0	0	0
女性	—	0	0	0	0	0	0	0
40代以下	—	0	0	0	0	0	0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 2 年 7 月 1 9 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	7	7			
認定農業者	1	1			
認定農業者に準ずる者	0	0			
女性	1	1			
40代以下	0	0			
中立委員	1	1			

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	0	0	0

*現在の体制を記載することし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成30年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	116ha	17.2ha	14.8%
課 題	高齢化の進行に伴い遊休農地、耕作放棄地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成29年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
17.1ha	17.2ha	0.15ha	100%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	所有者及び耕作放棄地に関する調査と併せて利用集積可能な土地をあっせんする。また、農地中間管理事業の活用を図る。
活動実績	農地について、農地借受を希望する農家があったため、農地中間管理事業の推進や基盤法を活用することにより3月に1件1,494㎡を担い手への集約を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農地中間管理事業に伴う担い手への集積があったが、集積目標が高すぎた。
活動に対する評価	個人の農地について、少しであるが集積を行った。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	0経営体
	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課 題	山間地で農地が狭く一般的な農作物では、農業経営が厳しい状況にある。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成29年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
1経営体	2経営体	100%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
0.5ha	2.1ha	420%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・柚子の放棄園等を活用した取り組みの推進。 ・西米良村で推進している定住対策と併せて耕作放棄地等の再生を推進する。 ・農地中間管理事業を活用した村有地(カラーピーマン等)の貸借を行う。
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、村で柚子の放棄園について、柚子園地マップの取りまとめを行った。(農林振興課内) ・新規参入者から相談があった際、随時相談を受けた。 ・新規参入者のカラーピーマン参入の準備に伴い農業委員会で情報共有を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	村有地(柚子団地)の参入者が2名あったので、目標を達成している。
活動に対する評価	新規参入者からの相談があった場合、ある程度、相手が必要とする情報提供を行えた。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (平成30年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	124.9ha	8.9ha	7%
課 題	村内には、狭い農地が多く点在しており、担い手や鳥獣被害等により、遊休農地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成29年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
0.5ha	0ha	0%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況調査	7人	8月～9月	9月～10月
	調査方法	・村内全域を調査区域とし道路からの目視による巡回を実施。 ・各地区に農業委員を配置して調査。 ・遊休化している農地に対して、非農地判断や意向調査等を行う。		
	農地の利用意向調査	調査実施時期:8月～10月		
	その他の活動			
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		7人	8月～12月	12月
	農地の利用意向調査	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	1月
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
		調査数: 314筆	調査数: 0筆	調査数: 0筆
		調査面積: 8.9ha	調査面積: 0ha	調査面積: 0ha
	その他の活動			

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農業者の高齢化、担い手不足、農地状況の特に悪い農地については耕作放棄地の増加が考えられるので、第3号への貸借のあっせんを行う必要がある。
活動に対する評価	耕作放棄地について、農地としての再生が不可能な農地について、非農地判断調査を行い周りの農業環境に影響を与えないように農地以外の地目設定を行うように土地所有者に促す必要がある。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成30年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	116ha	0ha
課 題	現在、違反転用はない。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成29年度実績

実 績①	増減(B-①)
0ha	0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	定期的な農地パトロール・通報に対する即時対応をする。
活動実績	4月から11月に掛けて村内の農地パトロールを行った。
活動に対する評価	農地パトロールを行ったことにより、違反転用を未然に防止することができた。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのが等
詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 0件、うち許可 0件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	特になし			
	是正措置	特になし			
総会等での審議	実施状況	特になし			
	是正措置	特になし			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	0件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0件		
	是正措置	特になし			
審議結果等の公表	実施状況	特になし			
	是正措置	特になし			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 日	処理期間(平均)	日
	是正措置	特になし			

2 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	特になし			
	是正措置	特になし			
総会等での審議	実施状況	特になし			
	是正措置	特になし			
審議結果等の公表	実施状況	特になし			
	是正措置	特になし			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 日	処理期間(平均)	日
	是正措置	特になし			

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	法人
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
貸借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象貸借件数 2件 公表時期 平成28年4月 情報の提供方法: 村のホームページ
	是正措置	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 0件 取りまとめ時期 情報の提供方法:
	是正措置	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 116ha
		データ更新: 随時
		公表: インターネットでの農事録公表
	是正措置	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	(要望・意見) (対処内容)
農地法等によりその権限に属された事務	(要望・意見) (対処内容)

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数

0 件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--

【事務局】

以上で説明を終わります。

【中武武司会長】

事務局から、説明を受けたところですが、質疑はございませんか。

【委員一同】

ありません。

【中武武司会長】

質疑もないようですので、決をとります。議案第 1 号「平成 29 年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」について異議のある方はいらっしゃいませんか。

【委員一同】

全員異議なし。

【中武武司会長】

全委員賛成ということで、議案第 1 号「平成 29 年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」については、可決されました。

次に議案第 2 号「平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動計画」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、第 2 号議案「平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動計画」について説明をいたします。

※ 資料に沿って説明を行った。

(別紙様式1)

平成30年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：宮崎県
農業委員会名：西米良村農業委員会

I 農業委員会の状況(平成30年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	139	農業就業者数	101	認定農業者	11
自給的農家数	50	女性	43	基本構想水準到達者	0
販売農家数	89	40代以下	7	認定新規就農者	2
主業農家数	16	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	0
準主業農家数	19			集落営農経営	0
副業的農家数	54	※ 農林業センサスに基づいて記入。		特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※ 農業委員会調べ

	単位:ha					計
	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	63	53				116
経営耕地面積	25	25	7	18	0	50
遊休農地面積	8	2	2	0	0	10
農地台帳面積	65	62	51.2	10.8	0	127

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数	-	-	-	-	-	-	-	-
認定農業者	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	-	-	-	-	-	-	-	-
40代以下	-	-	-	-	-	-	-	-

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 2 年 7 月 1 9 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	7	7			
認定農業者	1	1			
認定農業者に準ずる者	0	0			
女性	1	1			
40代以下	0	0			
中立委員	1	1			

※現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成30年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	116ha	17.2ha	14.8%
課 題	高齢化の進行に伴い遊休農地、耕作放棄地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成30年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 18.2ha (うち新規集積面積 5ha) 目標設定の考え方: 県の集積目標面積を踏襲。
活動計画	担い手への農地の利用集積を推進するため、農地中間管理事業を活用していく。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	2経営体
	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	2.1ha
課 題	山間地で農地が狭く、一般的な農作物では農業経営が厳しい状況にある。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入者を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成30年度の目標及び活動計画

参入目標数	1経営体	参入目標面積	0.5ha
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・柚子の放棄園等を活用した取り組みの推進。 ・西米良村で推進している定住対策と併せて耕作放棄地等の再生を推進する。 ・農地中間管理事業を活用した村有地(カラーピーマン等)の貸借を行う。 		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅳ 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成30年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	116.9ha	10ha	10.1%
課 題	村内には、狭い農地が多く点在しており、担い手不足や鳥獣被害等により、遊休農地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成30年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 0.5ha		
		目標設定の考え方:昨年度の実績を基に目標設定を行った。		
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		7人	8月～9月	9月～10月
		調査方法	・村内全域を調査区域とし道路からの目視による巡回を実施。 ・各地区に農業委員を配置して調査。 ・遊休化している農地に対して、非農地判断や意向調査等を行う。	
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		8月～10月	10月～12月	
その他				

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

Ⅴ 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成30年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	116ha	0ha
課 題	今後も所有者の農地法に対する認識の不足による転用がおこらないように、広報誌・ホームページによる周知を図る必要がある。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成30年度の活動計画

活動計画	農地の転用について、村広報誌・ホームページ等を活用し広報・啓発を行う。
------	-------------------------------------

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月何日を行うのか等詳細かつ具体的に記入

【事務局】

今年度も農地利用状況調査、非農地判断調査を計画しておりますので、ご協力よろしくお願いします。以上で説明を終わります。

【中武武司会長】

事務局から、説明を受けたところですが、質疑はございませんか。

【委員一同】

ありません。

【中武武司会長】

質疑もないようですので、決をとります。議案第2号「平成30年度の目標及びその達成に向けた活動計画」について異議のある方はいらっしゃいませんか。

【委員一同】

全員異議なし。

【中武武司会長】

全委員賛成ということで、議案第2号「平成30年度の目標及びその達成に向けた活動計画」については、可決されました。

次に議案第3号「西米良村農業振興地域整備計画変更申請に係る意見の聴取」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局長】

それでは、第3号議案「西米良村農業振興地域整備計画変更申請に係る意見の聴取」について説明をいたします。

今回、農用地利用計画の変更内容・理由について、除外3件（4筆）と用途変更1件（2筆）の計4件（6筆）が対象となっております。

《除外》

①所在地：西米良村大字小川字古屋敷 484 番 1

現況：田

面積：241 m²

理由：現在住んでいる箇所が土砂災害危険箇所であり、一般住宅の移転をするため

代替地：小川字折立 731 番 3 を計画していたが、公衆用道路が通っていないため住宅建築には不適と判断したため

②所在地：西米良村大字村所字田無瀬 197 番 2

現況：畑

面積：1,358 m²

理由：観光施設を整備するため

代替地：●村所字田無瀬 187 番 1 は、急傾斜地であり、崩土の危険性があるため断念。

●村所字 253 番 31、253 番 1 は、村有地を貸借する計画を立てていたが、条件が合わず断念。

③所在地：西米良村大字上米良字植田 275 番 3,285 番 4 2 筆

現況：田

面積：計 3,601 m²

理由：村営住宅を建設する予定としているため

代替地：上米良字二畝之谷 502 番 1、502 番 19 は、河川沿いのため、水害が発生する危険性があり断念。また、所有権設定の関係で断念。

《用途変更》

所在地：西米良村大字竹原字春之平 56 番 8,56 番 9 2 筆

現況：田

面積：計 341 m²

理由：農業用倉庫を建設するため

以上で、説明を終わります。

【中武武司会長】

事務局から、説明を受けたところですが、質疑はございませんか。

【田爪朝幸委員】

説明で受けた代替地とは、どのようなことですか。

【事務局長】

除外の場合は、農業振興地域内（申請地）以外で替わる土地を調査することとなっているため記載をしなければなりません。

【田爪朝幸委員】

分かりました。

【中武武司会長】

質疑は、ありませんか。

【委員一同】

ありません。

【中武武司会長】

質疑もないようですので、決をとります。議案第 3 号「西米良村農業振興地域整備計画変更申請に係る意見の聴取」について異議のある方はいらっしゃいませんか。

【委員一同】

全委員異議なし。

【中武武司会長】

全委員賛成ということで、議案第 3 号「西米良村農業振興地域整備計画変更申請に係る意見の聴取」については、可決されました。

本日は、これで審議を終わります。

ご意見、無いようですので、これで、審議を終わります。

事務局長が、総会を閉会する。 16 : 30

議事を作成した者の職、氏名

事務局長 上米良重光

事務局 後藤田真利

以上、会議の顛末を記録し、その相違なきことを証するため署名する。

議長 会長

署名委員 6 番委員

署名委員 7 番委員